

令和8年4月6日

技術的対話による企画競争の対話プロセスの公表

調達方法	技術的対話による企画競争
調達件名	電子契約システム（工事・業務）更改に係る設計・開発・テスト等業務
契約予定事業者	株式会社NTT データ
調達部局等	デジタル庁国民向けサービスグループ
公告日	令和7年12月15日
説明会	令和7年12月22日
企画提案書提出日	令和8年1月20日（契約予定事業者からの提出日）
事前審査期間	令和8年1月21日～1月27日（7日間）
技術的対話期間	令和8年2月2日～3月3日（30日間）
改善提案書提出日	令和8年3月4日（契約予定事業者からの提出日）
最終決定日	令和8年3月26日
仕様書確定版提示日	令和8年3月26日（契約予定事業者への提示日）
契約日（予定日）	令和8年4月7日頃

《事前審査・最終結果》

事前審査	事業者数 1社（合格1社、不合格0社） 結果 株式会社NTT データ 技術点 97.25 点（適合）対話対象者
対話後の審査 （改善提案書）	事業者数 1社 結果 株式会社NTT データ 技術点 110.10 点 優先交渉権者
最終の技術的対話	優先交渉権者 株式会社 NTT データと最終の交渉等の結果、合意が出来たため、契約予定事業者とする。

《株式会社NTT データとの技術的対話の過程》

技術的対話の時期・回数	令和8年2月2日～3月3日まで2回実施
企画提案書への改善要望	<p>① 見積の妥当性および精度の向上 概算見積内訳における各種費用の計上期間、G ビズ ID 対応、セキュリティ対応、外部調整対応等について、実施内容および影響範囲を踏まえた精査を行い、見積の妥当性および算定根拠の明確化を求めた。</p> <p>② 成果物および計画内容の明確化 テスト計画書の作成範囲および粒度について、必須対応・拡張対応の区分を明確化するとともに、環境構築手順書および運用関連ドキュメントの成果物への追</p>

	<p>加・整理を行い、成果物体系および内容の具体化を求めた。</p> <p>③ スケジュールおよび開発計画の最適化 運用手順書等の作成時期の見直しを含め、年度間の作業分担の適正化を図るとともに、利用者要望への対応を考慮した実行可能なスケジュールおよび開発スキープの整理を求めた。</p>
事業者からの改善可否等	<p>① 改善可：各種費用の計上期間および対応範囲について精査を実施し、見積内容の適正化を行うとともに、工程別の整理により算定根拠の明確化が図られた。</p> <p>② 改善可：テスト工程における必須対応・拡張対応の区分を明確化し、各種ドキュメントの作成方針を整理した。あわせて、環境構築手順および運用関連ドキュメントを成果物として追加・再整理し、成果物体系の充実が図られた。</p> <p>③ 改善可：年度間の作業分担を見直し、運用関連作業の実施時期を適正化するとともに、見積精査結果を踏まえたスケジュールの再構築を行った。これにより、利用者要望への対応を考慮した柔軟な開発計画への見直しが図られた。</p>
事業者からの自発的な改善	<p>開発スキープを「必須対応」と「拡張対応」に分割・再整理し、システム更改の中核となる必須対応を令和8年度初より重点的に開発・テストする体制を提案いただいた。また、拡張対応については優先度に応じて対応範囲・時期を柔軟に調整可能とし、必須対応への影響を回避しつつ利用者要望への対応を計画的に実施する提案がなされた。</p>

《その他》

デジタル庁 評価	<p>仕様書への記載が難しい見積の妥当性、成果物の範囲・粒度、開発スキープの優先度整理といった複雑な事項について、技術的対話を通じて双方で認識を共有し、具体的な改善につなげることができた。特に、開発スキープを必須対応と拡張対応に分割・整理した上で複数のスケジュールパターンを提示いただいたことにより、優先度に応じた段階的な対応が可能となり、実効性の高い提案内容へと改善された。技術的対話を通じて企画提案書の質を向上させ、仕様書の精度向上にも資することができたことから、本技術的対話は有効であったと思慮する。</p>
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------